



“つくる人”と“食べる人”
直接顔が見える関係をつくりたい



萩原いちご農園
萩原健司さん

奈良市・帯解で祖父の代からいちご農園を営む萩原健司さん。畑に立ちながら、自分で営業も行い、販売ルートを開拓。直接バイヤーとつながり、直接食べる人に届けることを昔から実践している。萩原さんが考える理想の農業、そして農家であり続ける想いを聞いた。

— 萩原さんは代々農業を営んでいるのですか？

そうですね。昔は、米・茶・桃・柿・いちじく・その他葉物野菜などを育てながら、薪を割って販売したり、山で筍を収穫したり、いわゆる百姓というものでした。昭和30年頃、祖父の代のときに「萩原いちご農園」を創設し、いちご農家になりました。その当時は奈良がいちごブームで、「1株で3粒とってハワイへ行こう」というキャッチフレーズが流行ったほどです。その後、親父が引き継ぎましたが、そのときに転換期がきました。流通が整って、安定的に食べられる時代になったんですね。それと同時に、作物は飽和状態になり、価格が一気に下がりました。私は、親父が苦勞しているのを子どもながらに感じていましたね。

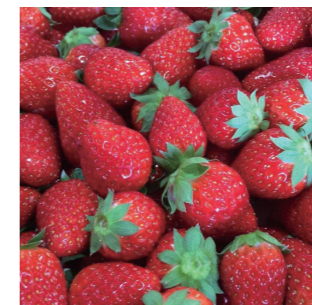
— なぜ農家になろうと思ったんですか？

元々、農家になる気は一切ありませんでした。正直に、農家が嫌いだったんです。子どもの頃は、親父も母も忙しくて、一緒に食卓を囲めないし、日曜も仕事でどこへも連れて行ってもらえない。だから、周りの友達いろいろな場所へ出かけた話を聞きたくなくて、月曜日に小学校へ行くのが苦痛でした。大学も農大へは進まず、4年制の普通の大学に通いました。農家になろうと思ったのは、大学の先輩との飲み会がきっかけです。その時に、就職先が決まった4回生の先輩たちが、自分の会社のことをすごく自慢気に話していたんです。でも1年経って、再会した時に、逆に不満や文句ばかりを話していたんですよ。そのときにふと思ったんです。「自分は農家のいいと

ころはひとつも知らんけど、農家のいらんところやったらなんぼでも話せる」。つまり、仕事を選ぶ時に嫌なところが明確ならば、それをいいところに変えることも可能だと思いました。それに農業は自分のできるのです。そこから数年ぶりに実家に帰って、親父に「自分を雇ってください」って言ったのが私の農業人生の始まりでしたね。

— 逆転の発想だったんですね。萩原農園を継いで10年だと聞きました。農業のいいところ、おもしろさは何でしょう？

農業のおもしろさのひとつは直売です。幸いなことに、僕の農園は小さい頃から県内のいろいろなところへ対面販売しに行っていたんです。だから直接対面販売することにアレルギーがなかった。百貨店とも直接



契約をして、そのバイヤーさんから物を売るとはどういうことを学びました。直売のいいところは、自分で価格を決められるだけでなく、お客さんの質も全て把握できるし、売上以上に気づきが多いんです。何より、直接買ってくれる喜びを感じられます。あとは県内の飲食店と直接契約することで、食のプロの目で意見をもらえるので、コミュニケーションが取れることもメリットです。うちはいちごが高い時も安い時も、1年を通して販売価格が統一なんです。だから叩かれるときに叩かれない。取引先と良い信頼関係を結んでいます。

もう一つは、農家の横のつながり。昔は、農家同士で変なプライドがあって、手の内を語ろうとしなかったけれど、今は違います。若手農業者グループ「奈良市4Hクラブ」のつながりもあり、各農家がオーブ

ンにいろいろなやり方や技術を共有しあえる関係です。育てる作物も異なれば、年代も様々。でも、かえってそれがおもしろく、農業の可能性が広がります。今では、企業と農家が組んで商品開発なども積極的に行っています。

最後に、農業は万国万人共通だということ。食べることに境界はないですよ。世界中、誰しもが食べないと生きていけない。ある意味、農家って必要不可欠な仕事だと思います。

— 萩原さんがこれから思い描く理想の農業ってなんでしょう？

やはり、互いに顔が見える関係の中で、直接買ってくれる人が増えたらいいと思います。そのために、農家は自分が作る

農作物に対して自分で付加価値をつけるべきだと感じます。昔は、八百屋がそれを担ってくれていました。金額が高い安いでなく、同じいちごの中でも良し悪しを語ってくれる役割を八百屋がしてくれていたんです。でも、今の時代は自分でやらないといけません。それぞれつくる人が違うので、同じ作物はできないし、それぞれに個性があるわけですから。その個性を私たち農家は伝えなければならぬし、買う人たちに知ってほしい。その上で選んでほしいなあと思います。一番の理想は、奈良の農家さんそれぞれに、直接ファンがついてくれたらいいですね。

萩原いちご農園

奈良市横井6丁目596 / 0742-81-8715

※萩原いちご農園は奈良市食育ネット参加団体です。